

講座名 在宅医療学講座

代表者 特任准教授 山中 崇

構成員 特任助教 木棚 究

特任研究員 片山成仁、黒川達也、加瀬義高、水木麻衣子

### 【 講座概要 】

都市部を中心に外来通院が困難な高齢者が急増する日本において、地域包括ケアシステムの構築は国家的課題である。この地域包括ケアシステムで不可欠な要素である在宅医療に関するエビデンスは乏しい。今後、在宅医療に関する研究を推進し、全国の研究を牽引しながら学問体系化を図り、教育、普及していくことが求められている。

本寄付講座では、在宅医療を行う医療機関ならびに厚生労働省が設置している全国在宅医療会議、およびその主力メンバーである日本在宅ケアアライアンスのアカデミックグループ、在宅医療に関係する学術団体と密に連携しながら在宅医療のエビデンスを構築し、在宅医療の学問体系化を図る。

### 【 研究内容 】

高齢化の急速な進行に伴い在宅医療の普及が求められている。在宅医療の現場では様々な課題があり、それらの課題を明確にし、解決していく必要がある。そのため、在宅療養者の QOL を含め、在宅医療の現状と課題を調査し、これらを解決するための研究に取り組んでいる。

在宅医療の対象者は高齢者だけでなく、小児、神経筋疾患、がん、認知症、精神疾患、臓器不全患者など幅広い年齢層、疾患に及ぶ。これら在宅医療の対象となる主要な対象者・疾患・病態ごとに、自宅を始めとする生活の場における適切な治療、ケアの方法について検討する。

在宅医療における薬物療法の安全性に関する多施設共同後ろ向き観察研究を行い、在宅医療での薬剤処方状況ならびに在宅医療サービスとの関係を検討した。

日本在宅医学会、日本老年医学会、国立長寿医療研究センターは合同委員会「高齢者在宅医療・介護サービスガイドライン作成委員会」を構築し、クリニカルクエスションの作成、システムレビューを行い、平成31年3月に高齢者在宅医療・介護サービスガイドラインを作成した。在宅医療学講座はこの作業を分担した。

本講座は在宅医療に関する卒前・卒後教育を担当している。本学の在宅医療に関する卒前・卒後教育プログラムを始め、在宅医療に関する国内外の教育プログラムについて検討する。このことにより、より効果的な在宅医療に関する教育プログラムを作成し、全国的に普及を推進するための方策を研究する。

### 【 今後の展望 】

これまでに実施した在宅医療の症例登録研究を発展させる形で、在宅医療を受ける患者を対象とするカルテ調査を行う。そのうち長期に在宅医療を受ける患者の症例登録研究（多施設共同前向き研究）を実施する。これらの研究をパイロット調査として実施しながら、在宅医療に関する

全国的なレジストリーシステムの構築を目指す。

地域包括ケアシステムにおけるロボット介護機器の効果検証、呼吸不全の在宅緩和医療の指針に関する研究、トランジショナル（移行期）・ケアのより有効な実施体制の構築と在宅医療の研究基盤組織（プラットフォーム）形成に関する検討、日本在宅医療連合学会認定専門医を対象とする在宅医療の診療に関する調査に取り組む。

教育活動として、引き続き医学部医学科「地域医療学実習（必修）」、臨床研修医の「地域医療研修」の教育を継続し、在宅医療分野における教育モデルの構築を目指す。

## 【平成30年度活動実績】

### <論文・著書>

#### ■ 和文論文

1. 山中 崇：【在宅医療と腎泌尿器疾患】高齢者の診かた 2) 非がん患者の緩和ケアと看取り、腎臓内科・泌尿器科 2018;8(1):44-48.
2. 山中 崇：【高齢者医療ハンドブック-高齢者医療におけるダイバーシティへの対応】(第 XI 章)高齢者の在宅医療とエンドオブライフケア 在宅医療の有用性のエビデンス、2018;121(4):1031-1034.
3. 山中 崇：VII 高齢者の在宅医療 4. 在宅医療の発展に向けた研究と教育、日本臨床 2018;76 (増刊号 5) (通巻 1144 号) 老年医学 (上) -基礎・臨床研究の最新動向-
4. 玉井杏奈、大西弘高、野口麻衣子、土屋瑠見子、弘田義人、山中 崇、大島勝矢：【短報】地域医療学実習における多職種模擬カンファレンスカリキュラムの開発とその改変プロセス、医療職の能力開発、2018;6(1):31-42.
5. 山中 崇、小谷和彦：在宅臨床検査と深部静脈血栓症、臨床検査、2018;62(11):1535-1539.

#### ■ 書籍

1. 山中 崇：第 4 章 在宅医療における臨床検査の活用 4.4 深部静脈血栓症管理、在宅医療における臨床検査医学. 100-105、2019、臨床検査振興協議会監修、小谷和彦編集、じほう（東京）

#### ■ ガイドライン

1. 日本老年医学会、日本在宅医学会、国立長寿医療研究センター：高齢者在宅医療・介護サービスガイドライン2019、2019、株式会社ライフ・サイエンス（東京）

### <学会・講演会発表>

#### ■ 国際学会

1. Yamanaka T, Hirota Y, Furuta T, Iijima K, Akishita M: Trajectories of Quality of Life and Well-being in Elderly Home Care Patients. American Geriatrics Society 2019 Annual Scientific Meeting. J Am Geriatr Soc 2018;66(Suppl2);S54. 2018 年 5 月 3 日, Orlando, FL, USA.

2. Osawa I, Yoneda A, Ishii S, Yamaguchi K, Yamaguchi Y, Tsuji K, Yamanaka T, Akishita M: Medication prescription in home visits by physicians. American Geriatrics Society 2019 Annual Scientific Meeting. J Am Geriatr Soc 2018;66(Suppl2);S276. 2018年5月4日, Orlando, FL, USA.
3. Yamanaka T: International symposium of home-based care: Delivery and payment models (Panelist). International Training Workshop of Home Care. 2018年8月18日、中国、山東省済南、中国
4. Yamanaka T: Home care medicine education. International Training Workshop of Home Care. 2018年8月19日、中国、山東省済南、中国
5. Yamanaka T: Home-based medical care in Japan. International Training Workshop of Home Care. 2018年8月20日、中国、山東省済南、中国
6. 山中 崇: 日本在宅医療制度の理解と専門人材の養成、第1回医療の公共性強化のための国際シンポジウム: 高齢化社会、在宅医療の現状と課題、2019年3月27日、ソウル、韓国

#### <講演会・研究集会>

1. 山中 崇: 在宅医療における Evidence と臨床検査、臨床検査技師による在宅医療の推進、2018年4月28日、東京
2. 山中 崇: 地域包括ケアにおける医師の役割、全国地域医業研究会 基礎研修、2018年6月8日、東京
3. 山中 崇: 高齢者の健康と生活、ホテル花月園健康講座、2018年7月7日、神奈川県足柄下郡箱根町
4. 山中 崇: 心不全の在宅医療 —生活をふまえたアプローチ—、Live Symposium for “かかりつけ医” 2018. 2018年7月10日、東京
5. 山中 崇: 在宅医療の展開 (臨床検査との関係)、第35回臨床検査振興セミナー、2018年7月20日、東京
6. 山中 崇: 住み慣れた地域での生活を支えるために～在宅医療・不眠症治療について～. Interprofessional Café. 2018年9月11日、静岡県清水市
7. 山中 崇: 臓器不全 心不全の在宅医療、在宅医療インテグレータ養成講座基礎編、2018年9月23日、東京
8. 木棚 究: 認知症の初期症状と予防法、東京大学医学部附属病院高齢者教室、2018年12月19日、東京
9. 木棚 究、工藤里美、山中 崇: 在宅医療における薬剤処方状況、東京大学医学部附属病院先端医療シーズ開発フォーラム2019, 2019年2月18日、東京
10. 山中 崇: 高齢者の在宅医療、東京大学医学部附属病院高齢者教室、2019年3月20日、東京

#### ■ 社会活動

##### 山中 崇

1. 高齢者医薬品適正使用検討会 (厚生労働省) 構成員

2. 日本在宅医学会 理事, 研究委員会委員長
3. 日本在宅医療学会 評議員
4. 日本老年医学会 代議員
5. 日本自律神経学会 評議員
6. 足立区地域包括ケアシステム推進会議委員 (副会長)